

飲食店における新型コロナウイルス（COVID-19） 感染予防対策を考えます 2

2021年3月17日（水）にて札幌市による「第2回すすきの地区新型コロナ対策セミナー」がオンラインで開催されました。弊社社員が拝聴したそのセミナーの内容をご報告し、皆様が気になっている「ワクチン接種」についてQ&Aをまとめました。

新型コロナウイルスの第3波は収束に向かう中、新規感染者数の下げ止まり状態が続いています。感染力の強い変異株の感染者も増え、このままではすぐに「第4波」が到来するのではと専門家は警告しております。飲食店での感染予防対策について最新情報をお伝えします。

■ 飲食店におけるクラスター発生事例の分析・考察

（「第2回すすきの地区新型コロナ対策セミナーより」）

	持ち込む	持ち込ませない対策
お客様が	体調不良なのに外出 	入口で検温 （お客様自身でなく従業員が検温する） 
従業員が	体調不良を隠して出勤 	出勤時に検温 （自分でなく他従業員が検温し記録もしくはサーモカメラで自動記録） *症状があった場合、相談しやすい環境（雰囲気）づくりを
お店の環境や仕組みが	従業員に対して症状がある場合に休むことを指示していない 	

個人（お客様、従業員）のせいにしてはならない、たよらない
→ 店の仕組みで予防策を実行



	広げる	広げない対策
お客様が	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクを外して従業員と又はお客様同士で会話 * (従業員に) マスクを外すことを強要 * 距離を取らない 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSや店内の掲示などで感染予防の注意喚起を行う (食事中以外のマスク着用推奨) ・予防対策を徹底している店であることをアピール (トラブル回避)
従業員が	・マスクを外して休憩室で会話	・休憩中もマスク着用、距離をとる
	・マスクを外して喫煙室で会話	・喫煙中はしゃべらない
	・アフター行った際に、感染対策が不十分	従業員への感染予防対策教育を行う
お店の環境や仕組みが	・店内の換気が不十分 (休憩室も換気必要)	換気ルールを作成、徹底させる (CO ₂ 濃度：1000ppm以下が目安)
	・消毒について指導が不十分 (消毒箇所、頻度が曖昧)	消毒ルールを作成、徹底させる
	・客席の距離をとる工夫がない、アクリル板がない	座席の間隔をあける、アクリル板を設置する

■ 新型コロナウイルス ワクチンQ&A

Q：なぜ新型コロナウイルスのワクチン接種が必要？

A：個人に症状がでにくくなったり、**(発症予防)**重症化をふせぐ**(重症化予防)**効果が期待できます。ワクチンを接種しても感染しないわけではありません。

Q：ワクチンの効果は？

A：ファイザー製のワクチンでは4万人以上が参加した臨床試験で「接種しなかった人の発症」よりも「接種した人の発症」の方が**95%少なかったという有効性データ**が得られています。**インフルエンザのデータが52.9%** (2015～2016) ですので、かなりの高さになります。

Q：接種後はマスクを外してもいいの？

A：ワクチンを受けた人は**「発症を防ぐ効果」**は期待されますが、**「感染するのを防げるか」、「周囲に感染を広げるのを防げるのか」**についてはまだわかっていません。ワクチンの**持続期間も不明**なため、マスク着用や3密回避などの予防対策は引き続き必要です。

Q：副反応は？

A：現時点でインフルエンザよりも**接種部分の痛みや腫れ、発熱などの症状**が多くでております。これらの症状は、**数日で回復**しています。きわめてまれに、接種直後に重いアレルギー症状であるアナフィラキシーショックを起こすことも報告されています。このため、接種会場や医療機関ではアナフィラキシーショックが起きてもすぐに対応できるように医薬品などの準備をしております。**基本的に安全性に大きな問題はない**と考えられます

厚生労働省HPより

厚生労働省「ワクチン接種の注意パンフレット」

お問い合わせ先 ⇒

ご質問等ございましたら
お気軽にお問い合わせ下さい

株式会社エンバイロサービス
〒060-0005 札幌市中央区北5条西12丁目2
ベルックス北5ビルA館2階
TEL：011-242-8288